

カリフォルニア州： 気象と状況と米の作柄概況

2002 年 10 月 15 日

2002 年 10 月 13 日現在：

サクラメント盆地の米の収穫は昨年並びに平年より早いペースで最終段階に入った。今期の米の収穫が平年より 1 週間以上早く進んでいるのは、春先の好天で圃場整備が例年より早く完了し、播種作業が 1～2 週間例年より早く進んだことが一因である。又、10 月始めに有った強い北風が完熟中の籾を急激に乾燥させる結果となり、晩生種の収穫が早まる結果となった。10 月 13 日現在、80%の圃場で収穫を完了（昨年同期：73%、平年：72%）した。

今期の稲にもバカ苗病が発生したと報告されている。バカ苗病がサクラメント盆地の稲で認められたのは 1999 年と言われる。日本から持ち込まれた病気であり、アメリカでも「bakanae」と称されている。1898 年にイネ馬鹿苗病が *Fusarium* 菌の一種に因るもので、イネの徒長が菌の生産する物質に起因する事が明らかにされた。その後の研究でこの病原菌の名前は *Gibberella fujikurori* と命名された。この名前は菌の生産する物質、Gibberellin(ジベレリン)に因んでの命名と言われる。この菌に冒されたイネは徒長し、稔実せずに枯死する。矮性品種が主力のカリフォルニア米の圃場では、まるで他品種の様に徒長しているのが認められると言う。

生育状況：

	This week	Last week	Last year	5yr. Ave.
Harvested (%)	80	70	73	72

参考：南部米生育概況：

Harvested (%)	This week	Last week	Last year	5yr. Ave.
Arkansas	88	82	97	93
Louisiana	98	96	99	99
Mississippi	82	80	93	93
Missouri	74	65	73	80
Texas	100	100	100	99

Sources: California Agricultural Statistics Service; Cooperative Extension, University of California

9 月 1 日 USDA 予想では、カリフォルニア米（短・中・長粒計）作付面積は 523,000 エーカー、収穫予想面積は 521,000 エーカー、単位収量：8,100 ポンド（昨年：8,170 ポンド）、収穫量は 42,201,000 ブッシュェル（昨年：38,490 千 Bu）と予想している。9 月 1 日現在では、クラス毎の単位収量の予想は発表されていない。

当該作柄レポートへのご質問又はご意見は下記にお願い致します。

OMIC USA Inc., Portland Oregon

小川正晃

Email: ogawa.max@omicnet.com